

伊勢市多分野協働プラットフォーム 設立記念講演会

孤独・孤立は、誰にでも起こることであり、声を上げやすい環境と共に、周囲の方々も声をかけ、受け止めることのできる社会認識を醸成することが重要です。

伊勢市では「働きづらさを抱えた人」に対する「周知・啓発」「社会参加」「就労支援」「地域づくり」等を、福祉分野以外の雇用・産業・教育分野等との連携・協働を踏まえ検討する「伊勢市多分野協働プラットフォーム」を設立しました。

この講演会は、孤独・孤立に関する関係機関や市職員の意識向上を目的として、官民が連携しながら誰一人取り残さない地域共生社会の実現を目指すため開催します。

ところ シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 4階大会議室

とき 令和5年1月31日(火) 13時30分～15時00分

講師 内閣官房内閣審議官兼孤独・孤立対策室長

山本 麻里 氏



<プロフィール>

山口県生まれ。昭和62年東京大学教養学部卒業後、同年4月厚生省入省。大蔵省、宮城県庁、環境省、桑名市副市長、内閣府での勤務のほか、厚生労働省社会・援護局総務課長、同大臣官房審議官（医療介護連携担当）、内閣官房内閣審議官（児童虐待防止等総合対策室長、内閣人事局）、厚生労働省社会・援護局長を歴任し、令和4年6月から現職。

演題 「孤独・孤立対策の概要とその必要性について」

参加者 市職員、関係機関職員など150名程度

問い合わせ 伊勢市役所 福祉生活相談センター 担当：小川・畑・松本
市役所東館2階⑭番窓口（電話：21-5715 内線：71-3251）

お願い

※ 新型コロナウイルス感染状況により、中止または内容が変更になる場合があります。
※ 参加者は各自 体調確認の上、会場でのマスク着用にご協力ください。